



糖尿病注意報発令中!

健診の申し込みを受け付けています

～ 申込書を発送しました～

■健診を受けて糖尿病予防

みなさん、自分の血糖値をご存知ですか。健診を受けて初めて、自分の血糖値が高いことや、腎機能が低下していることが分かった人も多くいます。欧米では糖尿病患者の40～50%で心筋梗塞が直接死因となっています。血糖値が高いだけでは自覚症状はありません。血管や臓器に影響が出て初めて、生活に支障が出てきます。

自覚症状がない段階で糖尿病を早期発見し、血糖コントロールを良好に保ち、合併症を予防しましょう。

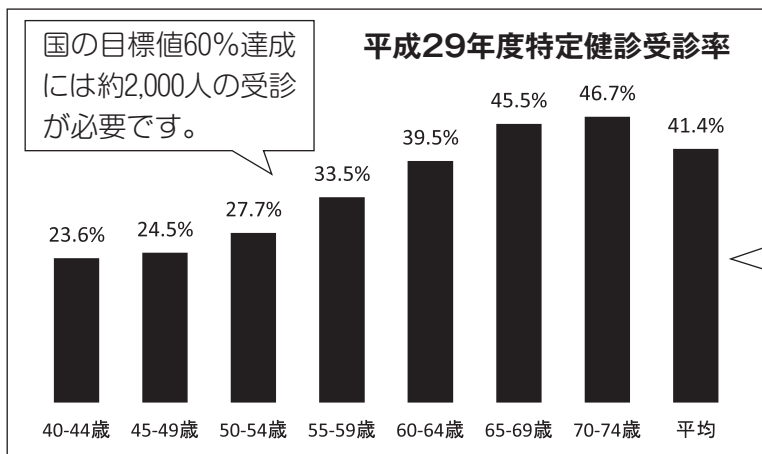
市の健診では、保健師が血糖値の高い人、腎機能が低下している人などに受診勧奨や保健指導を行っています。

市の特定健診の受診率は41・4%（平成29年度と県内30市町村中ワースト3位という現状にあります。国の目標とする60%を達成するためには、あと約2千人の受診が必要です。

■健診の申込方法

1月上旬に、「令和2年度健康診査申込書」を世帯主宛てに郵送しました。国民健康保険人間ドック費用助成の申込書も同封しています。

この申込書は、全世帯の健（検）診の受診状況調査も兼ねていますので、希望する健（検）診に丸をつけて1月24日（金）までにご返送ください。全ての方の提出をお願いします。



県内ワースト3位

平成29年度特定健康診査・保健指導実施状況(法定報告)より

ピンク色の封筒だよ



糖尿病は成人の3人に1人が持っている国民病です。

その理由として、運動不足、炭水化物を中心とした食事、間食や過食といった生活習慣が大して変わらない上に、医療が進んで長生きできるようになったからです。以前は糖尿病患者さんが心筋梗塞や脳卒中を発症する姿をよく見ましたが、今では治療を受けている人の発症はかなり減りました。

問題なのは、発病しているのに治療を受けていない人です。糖尿病は症状がないので検査を受けないとその存在や重症度が分かりません。高血圧や脂質異常もしかりです。病院に来られる重症者の多くは、健診を受けていない、通院歴があっても治療を中断したなど、病気をきちんと管理されていない人です。

通院していない人は一般健診を受けて今の生活習慣で問題ないか点検してもらって下さい。そして問題があれば保健師さんと相談し適切な生活習慣に直して、長く健康を維持してもらいたいと思います。



新潟県立坂町病院 診療部長
五十嵐 仁 医師

糖尿病・腎臓専門医からのメッセージ

●問い合わせ 保健医療課健康支援室 ☎53-2111 (内線2440～2443)